

令和8年7月8日
釧路開発建設部

釧路開発建設部で実施した2事業が全建賞を受賞しました

～道路・漁港でW受賞～

一般社団法人 全日本建設技術協会が行う表彰において、この度、「北海道横断自動車道 本別～釧路」、「北海道歯舞地区直轄漁港整備事業」の2事業が令和7年度全建賞を受賞しましたので、お知らせします。

事業名：北海道横断自動車道 本別～釧路 (道路)
受賞機関：国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

事業名：北海道歯舞地区直轄漁港整備事業 (漁港)
受賞機関：国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 根室港湾事務所

【参考】「全建賞」とは

「一般社団法人 全日本建設技術協会」が行う表彰で、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられたものです。日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備や、その時々々の国民ニーズに沿った幾多の取り組みに授与される賞です。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

(道路)

釧路道路事務所 所長 かねた ひさし 金田 尚 電話：0154-24-8101 (内線 201)

道路整備保全課 課長 きさき はるお 佐々木 晴生 電話：0154-24-7304 (内線 3381)

(漁港)

根室港湾事務所 所長 きぐち あきら 木口 輝 電話：0153-24-4355 (代表)

根室港湾事務所 第2工務課長 もり まさや 森 昌也

釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



「北海道横断自動車道 本別～釧路」が全建賞を受賞

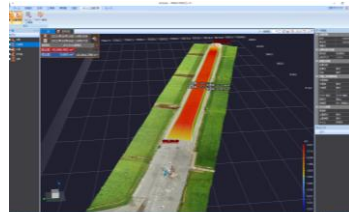
釧路開発建設部が実施した「北海道横断自動車道 本別～釧路」が、一般社団法人全日本建設技術協会から「全建賞」を受賞しました。

【事業の概要】

北海道横断自動車道本別～釧路は、北海道東部に位置する釧路・根室の釧根圏と札幌・帯広などの道央圏・十勝圏等を結ぶ広域ネットワークの一部を担う延長約65kmの高速自動車国道であり、平成16年より新直轄方式での整備が進められ、平成21年に浦幌ICまで、平成27年に白糠ICまで、平成28年に阿寒ICまでそれぞれ開通し、令和6年12月22日に釧路西ICまで開通、全線開通となりました。



開通した釧路西IC付近



3次元データ作成

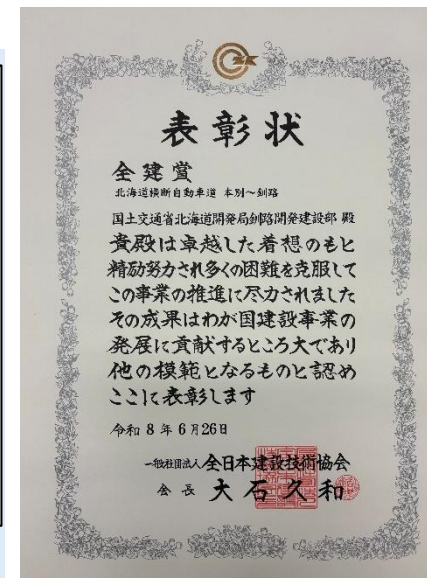


ICT施工



SNSを活用した開通機運醸成

評価を受けた施策（一部）



【評価のポイント】

本事業では3次元データを活用したICT土工の導入や新たな基礎地盤対策工の活用によるコスト縮減と生産性の向上を図るとともに、国・北海道・市町村・民間団体が緊密に連携してSNSを活用した開通までのカウントダウン等の情報発信を実施し、開通に向けた地域全体の機運醸成を図った点が評価されました。



「北海道歯舞地区直轄漁港整備事業」が全建賞を受賞

釧路開発建設部 根室港湾事務所が実施した「北海道歯舞地区直轄漁港整備事業」が、一般財団法人 全日本建設技術協会から「全建賞」を受賞しました。

【事業の概要】

歯舞漁港は利用漁船や漁獲量が多く、漁港内は漁業者や出荷車両により混雑しているほか、屋根付き岸壁の不足により、水産物の流通・衛生面に課題が生じていました。また根室沖での巨大地震に伴う津波による漁業者らの安全性の確保や、水産庁が推進する海業振興への対応も課題となっていました。

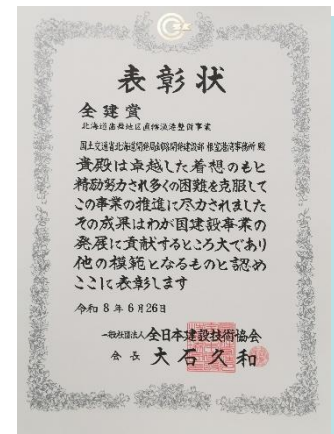
国による屋根付き岸壁、人工地盤、アクセス道路の整備と、漁協による交流機能を併せ持つ高度衛生管理型市場の整備が連携し、一体的にこれらを進めたことにより、水産物の流通・衛生管理対策の向上、用地不足の解消、津波来襲時の一時避難機能、および交流機能の同時確保を実現し、令和4年8月より供用を開始しました。



歯舞漁港に整備した人工地盤関連施設の全景



施設利用状況



【評価のポイント】

本事業では屋根付き岸壁・人工地盤・アクセス道路の整備と漁協事業の高度衛生管理型市場を一体的に連携して進め、水産物の衛生管理向上・用地不足の解消・津波来襲時の一時避難機能・海業振興を同時に実現した点が評価されました。

